



# 東部保健所 感染症情報

別府地域（別府市・杵築市・日出町）  
平成24年第20週（5月14日～5月20日）

## 感染性胃腸炎



感染性胃腸炎は、ロタウイルスやノロウイルスなどのウイルスや細菌によって引き起こされる胃腸の疾患で、一年を通じて発症しています。ウイルスによるものは毎年秋から冬にかけて流行が認められます。症状は原因となるウイルス等によって少しずつ異なりますが、発熱、下痢（水様便、血便など）、腹痛、悪心、嘔吐などです。

多くの場合、患者との接触や、汚染された水、食品によって経口的に感染します。手洗い、うがいを励行し、日常的に清潔を保つことが重要です。特に排便後や調理前は石けんと流水での手洗いが大切です。タオルの共用を避けることも必要です。十分な睡眠と栄養を取るようにして体調を良好に保つようにしましょう。

## A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは、高熱・咽頭痛・嘔吐を主症状とする細菌性の感染症です。典型的には、2～5日の潜伏期間の後、突然38度以上の発熱、咽頭痛、リンパ節の腫れ、嘔吐などが見られます。熱は3～5日以内に下がり、1週間以内に症状は改善します。

まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱（しょうこうねつ）」に移行することがあります。特にまた、排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します（経口感染）予防策としては、衛生管理の基本である手洗い、うがいの励行が非常に重要かつ有効です。

うがいをしよう



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	インフルエンザ様疾患	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱（プール熱）	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘（水ぼうそう）	手足口病	伝染性紅斑（りんご病）	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	マイコプラズマ肺炎
0歳					0.67	0.50			0.67				
1～3歳	0.70			2.33	4.7	1.00			0.33			0.17	
4～6歳	0.20			3.00	2.83	1.17						0.67	
7～9歳				1.17	1.17	0.33						0.17	0.50
10～14歳				0.33	0.33								0.17
15～19歳					0.33								
20歳以上	0.10				1.17								0.33
今週	1.00			6.83	11.2	3.00			1.00			1.00	1.00
70歳以上（再掲）													
前週	0.80			4.67	12.8	2.33			1.33		0.17	0.33	1.00

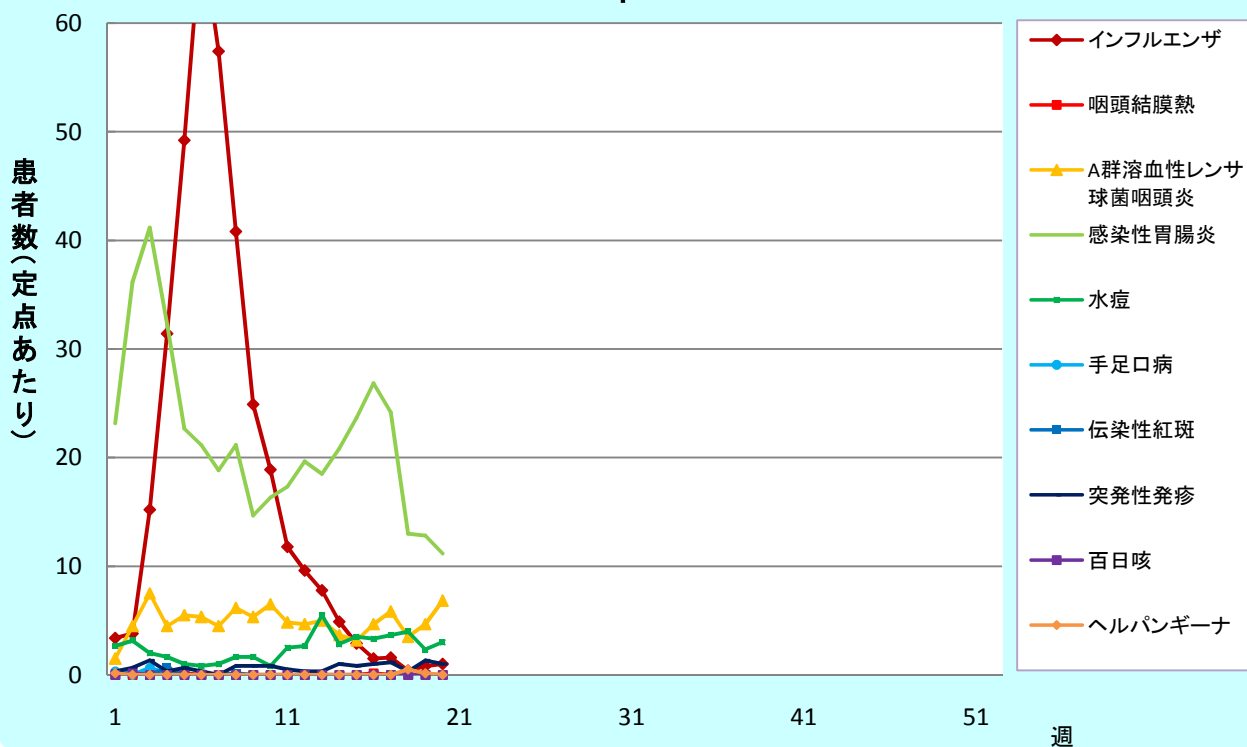
麻しん（全数報告）

※指定された医療機関（定点）から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上

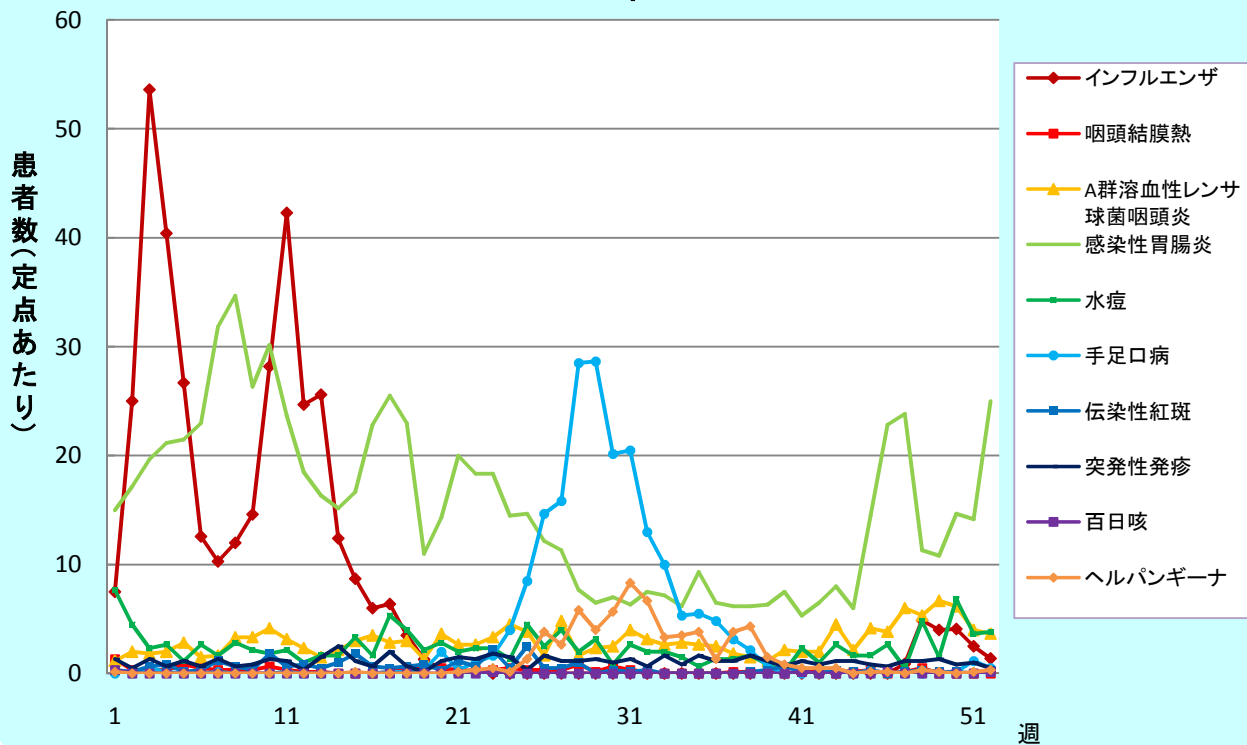
全医療機関からの報告

# 週別・疾病別患者数(グラフ)

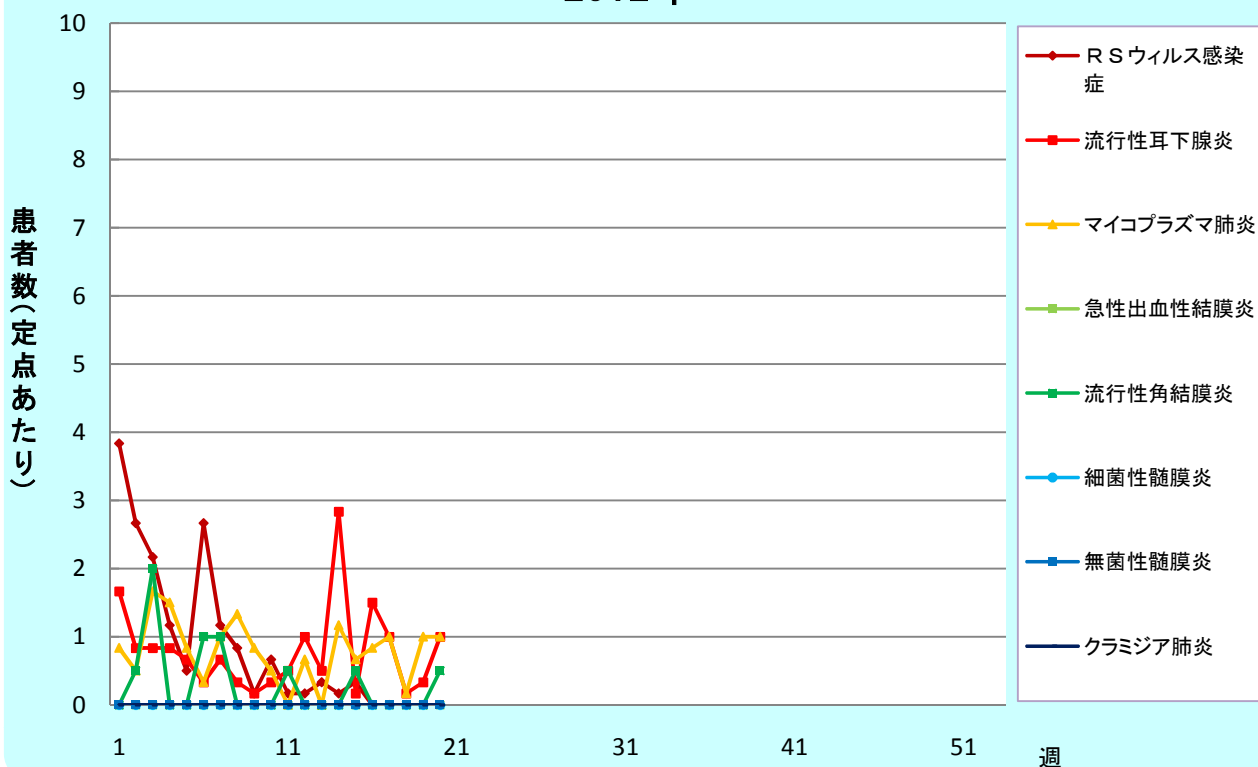
## 2012年



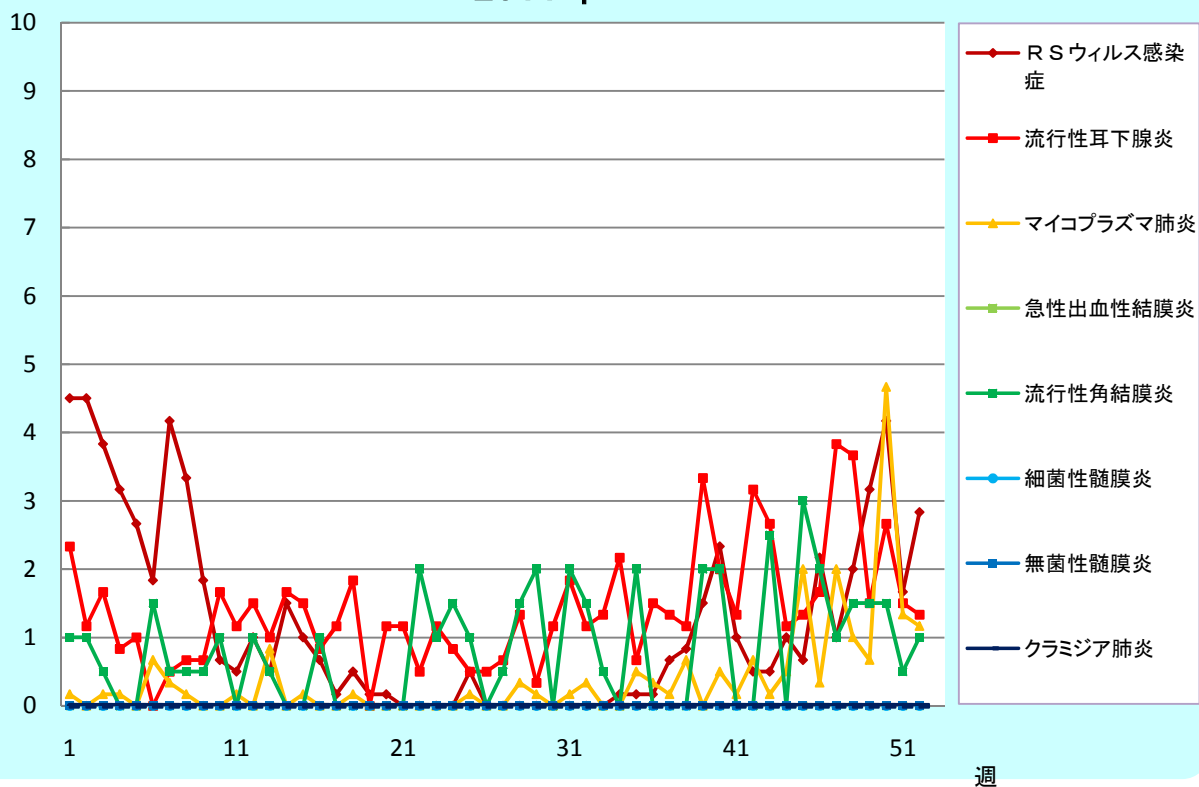
## 2011年



## 2012年



## 2011年



東部保健所



電話 (代) (0977) 67-2511

FAX (0977) 67-2512